

# 川口市が 独自にPCR検査拡充を発表



新型コロナウイルスの感染拡大防止のためには、PCR検査の拡充が必要とされています。川口市として更なる検査体制の強化をはかるために、川口医師会を通じて実施可能な医療機関の募集をおこない、調整が整い次第、順次検査を実施していくことになりました。これまでは、市民が川口市新型コロナウイルス感染症相談電話に連絡を取り、そこで感染の疑いがある場合に保健所が検査実施医療機関への受診を指示して、医師が必要と認めた場合にPCR検査が実施されていました。

今後は、そのことに加えて、市民が唾液を用いたPCR検査を実施できる医療機関に行き、そこで医師が必要とした場合にPCR検査を受けることができます。唾液を用いるPCR検査の場合は陰圧室がなかったり、ゾーニングができない医療機関でも検査が実施できるためより多く検査ができることとなります。

## 9月の無料法律相談

◎日時／9月8日(火) 18時30分～

◎会場／日本共産党埼玉南部地区委員会事務所2階

ご相談者が増えています。事前にご予約の上お越し下さい。  
相談ご希望の方は地域の党市議会議員、または下記電話までご連絡下さい。

なお、コロナウイルス対策のため、申し込みの際は  
必ずご連絡先の電話番号をお知らせ下さい。よろしくお願いいたします。

主催：日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10 電話 048-267-8411

## 第8期川口市 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定へ

7月30日に開かれた第2回川口市介護保険運営協議会では、第8期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に伴い、部会の設置や計画骨子案について審議されました。第8期(令和3年度から令和5年度)計画の考え方については、地域包括ケアシステムの深化・推進を念頭に第7期計画における基本理念・基本方針を踏襲するとし、基本理念である「高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、いかなる心身の状態にあっても、尊厳を保ち、安心して幸福に暮らせる地域社会を構築する」ことを実現していくために3つの基本方針「1.いつまでも元気に暮らせるまち」「2.介護が必要となっても安心して暮らせるまち」「3.地域が連携して支えあいながら暮らせるまち」に基づき施策を展開することが確認されました。

計画策定に係る調査結果報告書では6,000件が対象となり、回収は3,882件でした。市民調査結果の世帯状況では65歳以上は「夫婦2人暮らし」、在宅サービス利用者2号被保険者は「その他(1人暮らし・夫婦2人暮らし以外)」が最も多く、「1人暮らし」は在宅サービス利用者の2割以上を占めました。また、日常生活圏域別にみると、65歳以上では「1人暮らし」は中央・横曽根・青木では25%以上、在宅サービス利用者では「1人暮らし」は上青木・前川で34.0%、2号被保険者では60～64歳は「夫婦2人暮らし」が最も高いとなったなど11項目が示されました。

事業所調査結果の事業運営で困難を感じる点では、「従業員の確保」が79.1%、「利用者の確保」が49.6%、「事業者の資質向上」が47.0%となりました。また、職員の採用状況について「介護職員の採用が困難な状況にある」が59.1%と高く、その原因は「賃金が低い」が59.1%、「仕事がきつい」42.5%、「社会的評価が低い」が31.3%となっていることなど9項目が説明され、自由記述欄も含め調査結果報告書の概要が報告されました。その後、第1号被保険者の介護保険料軽減強化について等が報告され審議会は終了しました。次回は、計画策定に係り8月19日：第一部会(介護保険関係)・8月21日：第2部会(長寿支援関係)が午前10時から第一本庁舎で開かれます。

### ●第1号被保険者の介護保険料軽減強化について

所得段階	基準額に対する負担割合	年間保険料
第1段階	0.355→0.28	22,270円→17,570円
第2段階	0.75 →0.45	36,080円→28,240円
第3段階	0.725→0.70	45,500円→43,930円

\*令和元年度改正後 → 令和2年度改正後